

CCBA® 合格体験記

株式会社富士ゼロックス
総合教育研究所
小杉 和也

■ 受験目的

日頃、研修運営のバックヤード業務を外部ベンダーへアウトソーシングする窓口の担当をしていますが、（業務移管の移行期ということもあり）委託要件の詳細を明確化しきれておらず、一部に非効率な業務フローが存在していることに日々問題意識を持っていました。

今後、業務改善をしていく上での一助となればと思い、BA 学習を志し CCBA®受験にチャレンジしました。

■ 学習の感想

*BABOK®*の学習は、率直に言って、実務における業務改善の万能薬ではありません。記述内容は、どの業種業態でも汎用的に応用できる半面、非常に抽象的です。このため、実務で活用していくには、*BABOK®*の学習とは別に、各種テクニックの実践活用や、社内での運用ルール化など、多くの具体論を習得し実践経験を積む必要があります。

しかし、ビジネスアナリシス（要件定義、業務分析など呼び方はいろいろありますが）のように、ノウハウが非常に属人的になりがちで、かつ、方法論が一般的にあまり開示されていない分野において、ハイパフォーマの方々の方々の英知が凝縮されている *BABOK®*は非常に貴重だと思います。

BPO、業務改善などを実施するうえで、*BABOK®*はやるべき領域の全体像を提示してくれますし、成功に向けて押さえるべきポイントや注意すべきリスクを示唆してくれます。そして、この *BABOK®*を学ぶ上で、CCBA®試験は最適な機会と思います。

■ FXLI の CCBA®試験対策について

CCBA®試験を学習する上で、FXLI の試験対策コースが大変役に立ちました。*BABOK®*は非常に内容が抽象的であり、BA を学習するうえで、具体的な実務をイメージしにくい記述となっています。また、*BABOK®*は分量が多く網羅的に記述されているため、ポイントの強弱がつかめず、シンプルに全体像を把握しづらいという欠点もあります。

そこを、FXLI の試験対策コースでは、経験豊かな講師の方が、豊富な事例や例話により、わかりやすく具体的に解説してくれました。また、重要ポイントを抜き出してまとめた書籍（FXLI 講師の著作）を使用して、非常にコンパクトでわかりやすく全体像を示してくれました。

■ CCBA®の受験勉強について

勉強に使用した教材は「①BABOK®2.0」「②BABOK 入門」「③FXLI 試験対策コース模擬試験問題（2種）」です。

②で全体像をたどりながら、①を読み込み、③で理解確認と知識定着を図る、という学習方法でした。なんと言っても、一番のポイントは「BABOK®を徹底的に読み込んで理解する」ということに尽きると思います。そのための補足として②③を活用するという位置づけを心掛けました。

以上、取りとめのない文ですが、今後、BAを学習される方々のお役に立てば幸いです。